

発行所  
社会福祉 長野県身体障害者  
法人福祉協会  
長野市若里7-1-7  
TEL 026 (228) 0317  
E-mail: nagasin@avis.ne.jp  
編集発行人 小林和夫



日身連バッチャ

# 令和2年度事業計画

令和2年度当初より、新型コロナウイルスの影響で、全国に緊急事態宣言が発令されました。今まで経験のない世界規模の出来事に対応が難しいところと、緊急事態宣言の解除後も感染リスクの少ない活動や3密（密閉・密集・密接）の回避などが求められています。

令和2年度の事業計画については例年と同じように計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で計画の変更が余儀なくされると考えます。ご了承ください。

## ◎ 事業計画

### 1 相談員等の研修等

相談員の資質向上に向けて、障害者施策・相談支援等の研修会を開催します。

### 2 身体障害者の福祉に関する啓発活動

身体障害者に対する県民の理解を得るとともに、会員自身の自立意識を高めるための啓発活動を推進します。

- (1) 「第71回長野県身体障害者福祉大会（中野市大会）」の開催  
令和2年9月10日（木）志賀高原総合会館98にて、会員はじめ関係福祉団体・行政機関の関係者と

ともに大会を開催し、障害者の社会参加の促進と会員間の連携・組織強化を図ります。

### (2) 機関紙の発行

本会の機関紙「こころの友」を年2回発行し、協会活動、制度の改正など各種の最新情報を提供します。また、会員の投稿・作品（文芸欄）等を掲載し、紙面の充実を図ります。

### (3) ホームページの充実

本会のホームページを活用し、障害のある人もない人も障害者福祉に関心がもてるよう、分りやすく適時適切な情報提供を図ります。

### 3 社会参加促進事業等の推進

県内障害者福祉団体の中心的団体として、「長野県障がい者社会参加推進センター」の運営に当たります。

### (1) 障害者の社会参加推進事業の実施

長野県から委託を受け「長野県障がい者社会参加推進センター」の運営を行い、障害者福祉団体と連携し、障害者の社会参加促進を図ります。

また、「長野県障がい者社会参加推進センター」のホームページを通して、社会参加促進のための情報提供を行うとともに、全国障

### 4 協会事業の推進

- (1) スポーツ大会・文化芸術祭への参加  
ア スポーツ大会への参加  
県及び公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会等が主催する各種スポーツ大会に係る情報の周知を図り、参加を促進します。
- イ 「長野県障がい者文化芸術祭」への参加  
県及び障害者福祉関係団体で構成する実行委員会により開催される長野県障がい者文化芸術祭に積極的に参加することにより、障害者の社会参加を促進します。

### (2) 上田点字図書館の運営

視覚障害者の福祉向上を図るため、上田点字図書館の運営と利用者へのサービスの充実に努めます。

### (3) ブロック会議への助成

各ブロック単位の会議・活動に対し、郡市協会の結束と組織の強化を図るため助成します。

### (4) 健康教室への助成

会員の健康の維持・増進を図るため、女性部が主体となって運営

する健康教室の開催経費を助成し、会員相互の連携に努めます。

### (5) 関係団体との連携

本会を構成する県視覚障害者福祉協会及び県聴覚障害者協会と連携を密にし、協会事業の推進を図っていきます。

### (6) 収益事業の促進

県及び郡市協会活動の資金とするため、会員をはじめ地域の皆様の協力を得て、日身連収益事業所の斡旋するお茶、日常生活物品のカタログ販売等の収益事業を一層促進します。また「オートバックスの還元金制度」の定着、利用の拡大を図り、新たな収益事業として育てていきます。

### 5 大会・研修会等への参加

障害者施策の充実を図る法律の成立に向け、日身連・中央社会参加推進センター・日本障害者フォーラム（JDF）等が主催の大会・研修会等へ参加し、今日的課題と全国的運動の状況を把握し、協会活動に生かす、会員に情報提供します。

### 6 行政への要望活動の強化

会員の声を集約し、障害者差別を解消するための条例の制定等、障害者施策の充実について、長野県へ要望していきます。

新型コロナウイルスの影響で左記のように変更となりました。

◎ 4月～7月の会議は、原則中止しました。

◎ 5月理事会、6月評議員会は、書面決議にて実施しました。

◎ 9月10日の福祉大会は、中止が決まりました。

### 令和2年度 資金収支予算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

勘定科目		予算額	
事業活動による収支	収入	事業収入	22,623,000
		分担金収入	2,497,000
		その他の収入	10,000
		受取利息配当金収入	51,000
		事業活動収入計(1)	25,181,000
	支出	人件費支出	6,439,000
		事業費支出	17,448,000
		事務費支出	3,837,000
		事業活動支出計(2)	27,724,000
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 2,543,000
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	
	支出	施設整備等支出計(5)	
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,000,000
		その他の活動収入計(7)	1,000,000
	支出	その他の活動支出計(8)	
		その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	1,000,000
予備費支出(10)		140,000	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 1,683,000	
前期末支払資金残高(12)		2,082,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)		399,000	

### 令和元年度 資金収支決算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	事業収入	21,976,413
		収益事業収入	2,009,418
		分担金収入	3,032,300
		その他の収益	140,000
		雑収入	140,000
	受取利息配当金収入	41,691	
	事業活動収入計(1)	27,199,822	
	支出	人件費支出	7,426,813
		事業費支出	18,285,354
		事務費支出	3,414,626
事業活動支出計(2)		29,126,793	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 1,926,971	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	
	支出	施設整備等支出計(5)	
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	2,000,000
		事業区分間繰入金収入	1,973,692
		サービス区分間繰入金収入	534,469
		その他の活動収入計(7)	4,508,161
	支出	事業区分間繰入金支出	1,973,692
		サービス区分間繰入金支出	534,469
		その他の活動支出計(8)	2,508,161
		その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	2,000,000
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		73,029	
前期末支払資金残高(12)		4,535,240	
当期末支払資金残高(11)+(12)		4,608,269	



〈知事懇談にて〉

令和2年1月31日、知事と障害6団体長との懇談が行われました。いよいよ私たち障害者の切なる要望によって、差別解消のための条例が制定されます。この条例を真に実効性のあるものにするために、6団体長の個々の提案を、1つずつ知事が検討する意見交換がなされました。

要望書の提出後、県からは、「ただ条例を作っても何も変わらないという事がないように、そして担当課の健康福祉部だけでなく、県全体でどう変わるか、県庁を挙げて考えていきたい」と条例がめざすものに対して世の中にかわっていたいただき、実際の行動に少しでも移していただくことが何よりも重要だと考えている」と強く意見をいただきました。

## 知事懇談



第64回日本身体障害者福祉大会が、令和元年5月22日〜23日、秋田県秋田市で開催されました。長野県からは、日身連評議員である小林壽夫副理事長、小林事務局長が参加しました。

一日目は午前中に評議員会が開かれ、午後には「改正バリアフリー法への期待〜地域間格差ない環境整備に向けて」をテーマに政策協議が行われました。基調講演として、国土交通省総合政策局安心生活政策課課長である奈良裕信氏が「我が国のバリアフリー政策について」と題し講演を行いました。続くシンポジウムでは「改正バリアフリー法への期待〜地域間格差ない環境整備に向けて」と題し、シンポジストである長崎県や札幌市、阿部日身連会長から意見の発表等がありました。

二日目は秋田県立武道館にて盛大に、式典と議事が行われました。

## 日本身体障害者福祉大会

あきた大会

阿部日身連会長は、事業計画の発表において、「ユニバーサルデザイン2020行動計画が障害者権利条約の理念を反映し、総合的かつ一体的な障害者施策の一層の促進となるよう国等に対し積極的に働きかけていく」ことを強調されました。

### いま思い出される

#### 「ひまわり号」の旅

千曲市身障協会 柳澤 富子

長い間携わっているボランティア活動に関する資料のかたづけをしました。実行委員会を解散して12年にもなろうとしているのに捨てられずにいた「ひまわり号」の関連資料が山のように出てきました。今も走らせている会が有るので「ひまわり号」と云う名前にはご存じの方も多いと思います。

1982年東京で始まった障がい者専用列車、長野県では1984年上田―直江津間を走りました。更殖実行委員会（現在千曲市）は、1989年〜2008年まで旅を続けその間実行委員長を務めました。信越線廃止後は、長



車椅子でも“つり”が出来るよ!!

野で行われたパラリンピックを契機に造られた29人乗りリフト付きバスを5台連ね20か所以上の旅を行いました。目的の一つであった今では当たり前の障がい者トイレ・スロープ設置等バリアフリーに関する運動もしながらの旅でした。準備段階は苦勞の連続でしたが嬉しさいっぱいの障がい者の顔、やる気充分の生き生きとしたボランティアさん達（女性が多かつたかな）、頑張ってくれたスタッフのみんな。楽しい一日又は一泊の旅を今でも一つ一つ昨日のことに思い出されます。今では車椅子利用者（特に普通サイズ）の旅は殆ど叶うようになりました。しかし、バスの旅はまだまだですよね。今の願いは高速バスを自由に利用出来る事・〇〇観光ツアー旅行にも安心して参加出来る事はどうかね。

### 自分が、障害を持って

飯綱町身障協会 廣瀬トミ子

私が、27才で変形性股関節症と言う病名の障害を持ったのが、結婚して第一子のお産後の事でした。52才で人工股関節置換術の手術を受けるまでは、それはそれは言葉では言いあらわせない壮絶な痛みとの戦いの生活でした。手術後のリハビリも何十年の間に、重症化して痩せてしまった下肢の筋肉を再生して筋肉をつけていかなければならない為、一カ月理学療法士さんの指導を受けながら、リハビリに励み職場復帰と繋げました。

つけた筋肉を維持していくには、負荷の少ない水泳が良いとのアドバイスを受けていたので学生時代にしていた水泳を日常のリハビリと決めて取り組み、今現在も続けています。

水泳では、障害者水泳連盟にも入れて頂き多くの大会にも参加させて頂きました。

また、念願だった野尻湖一周遠泳の大会にも初挑戦しました。この年平成27年の大会では、発足初の98名参加で全員が完泳をなしたとげた大会で、本当に精神的にも、体力的にも、大きな大きな見えない物を得た忘れられない大会でした。今年は、新型コロナ感染拡大を防ぐため開催は中止となりましたが、来年の開催を願いながら日々の努力を続けていきたいと思っています。

色々な方に出会い、すばらしい感動や喜び、はてしない可能性と、障害を通して得た貴重な経験です。



第23回長野県障がい者文化芸術祭

作品募集

9月17日〜22日に「第23回長野県障がい者文化芸術祭inながの」が、長野県障がい者福祉センターで開催されます。このための作品募集を次のとおり行っていますので奮って応募してください。

- 1 応募資格 県内に住所を有する障がいのある方
2 部門 絵画 手芸 工芸 書道 写真
3 応募点数 いずれかの部門で、個人作品1点、グループ作品1点
4 応募期限 8月7日(金)
5 応募先 市町村障がい福祉担当課
6 詳しいことは市町村障がい福祉担当課又は保健福祉事務所へ照会してください。
※作品展開催等は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止する場合があります。
1 応募資格 県内に住所を有する障がいのある方
2 部門 短歌 俳句 自由詩 (400字以内)
3 応募点数 1人3点以内

川柳展

- 1 応募資格 県内に住所を有する方
2 応募規定 課題(テーマ) 「信州の名所部門」「自由部門(自由吟)」
3 応募期限 文芸部門と同じ
4 応募方法など 作品は、郵送・FAXにて受け付ける。
5 送付先・問い合わせ先 文芸部門と同じ

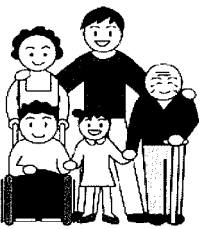
事務局職員の紹介

令和2年度の長野県身障協事務局職員を紹介いたします。
昨年度同様、本年度もよろしくお願ひいたします。

- 事務局次長 大森 節子 (シパング倶楽部・相談員研修・女性部等担当)
職員 内山 さおり (会計経理・予算決算監査・収益事業等担当)
事務局次長 池田 義久(新任) (社会参加推進協議会・県障害者福祉大会等担当)
事務局次長 大森 節子 (シパング倶楽部・相談員研修・女性部等担当)
職員 内山 さおり (会計経理・予算決算監査・収益事業等担当)

収益事業に ご理解とご協力を

日身連事業所は、各町内会・自治会のご協力を得て、回覧カタログによる収益事業と、皆様の福祉会からの「お茶」販売で県身障協と地元福祉会の財源確保のお手伝いをさせて頂いております。宜しくお願ひ致します。



日身連収益事業所
東京都渋谷区代々木5-57-6
所長 佐藤 宏
フリーダイヤル 0120-450-450

障がいのある方々と共に成長し 社会に貢献していきます

- 業務内容
印刷 広報誌/記念誌/自費出版/文集/チラシ・パンフレット など
縫製 被服/のぼり旗/バッグ/帽子/各種防災用品 など
アクアリウム メンテナンス付き観賞魚水槽のリース

社会福祉法人 ながのコロニー
指定就労継続支援(A型) 事業所
長野福祉工場
〒381-8580 長野市徳間1443 TEL 026-296-1411
http://nagano-colony.or.jp

あとがき

新型コロナウイルスの影響がいたるところに出ています。今後のコロナウイルスの状況や行政指導、他団体などの動向も見ながらご意見等もお聞きし、模索しながら、活動していくようになりたいです。
気を付けていきましょう。
編集委員長 塩原 敬治

